

各位

会社名 株式会社ビザスク

代表者名 代表取締役 CEO 端羽 英子

(コード：4490、東証グロース)

問合せ先 執行役員 CFO ファイナンスグループ長 小風 守

(TEL. 050-3733-8513)

業績予想の修正および営業外費用の計上に関するお知らせ

2022年4月14日に公表した2022年2月期決算短信において開示いたしました業績予想の修正および2023年2月期第2四半期累計期間(2022年3月から2022年8月)において営業外費用(為替差損)を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

2023年2月期(通期)の連結業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)

	取扱高 (注)1	営業収益	のれん等償却前 営業利益 (注)2,3	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,200	百万円 8,700	百万円 1,000	百万円 260	百万円 230	百万円 10
今回発表予想(B)	12,700	8,470	610	△200	△280	△480
増減額(B-A)	△500	△230	△390	△460	△510	△490
増減率	△3.8%	△2.6%	△39.0%	-	-	-
(参考)前期実績(累計)	5,693	3,702	746	△112	△389	△475

(注)1. 「取扱高」とは、知見プラットフォーム事業において顧客から得た対価(値引控除後)の数値であり、アドバイザーへの謝礼を含みます。

(注)2. 「のれん等償却前営業利益」とは、のれん償却費などの無形資産にかかる減価償却費(Coleman社を買収して新たに識別した無形資産にかかるものに限る)を差し引かず計算した営業利益であり、営業利益+のれん償却費+買収により新たに識別した無形資産の償却費により計算しております。

(注)3. 「のれん等償却前営業利益」の「(参考)前期実績(累計)」は、2022年2月期におけるのれん等償却前営業利益に一時的なM&A関連費用を加算した額である746百万円を記載しております。

2. 業績予想修正の理由

当社は、2022年4月14日に2023年2月期の連結業績予想を公表いたしました（詳細は、同日の2022年2月期決算短信「2023年2月期の通期連結業績予想」をご覧ください）。

その後、欧米の株式市況が利上げ等により悪化し、機関投資家、プライベート・エクイティ（PE）、PE等をエンドクライアントとするコンサルティング・ファームの需要動向が低調に推移する状況が継続しているため、グローバルENS事業のうち、欧米を中心とする海外顧客に対する取扱高の見通しを期初予想対比で下方修正し、また、主に米国における採用を抑制するなどの費用の見直しを行いました。結果、グローバルENS事業としては期初予想対比で取扱高は約9億円の減少、営業収益は約6億円の減少、のれん等償却前営業利益は約7億円の減少、のれん等償却費は約0.8億円の増加、営業利益は約8億円の減少を見込むことといたしました。なお、期初予想対比での円安の大幅な進行も業績見通しに織り込んでおり、前提となる通期平均為替レートを、期初で使用していた120円/ドルから133円/ドルに変更しております。その影響額は、営業利益の約1.1億円の減益要因であります。このほか、国内における人材等投資も業績見通しに織り込んでおります。

一方、国内事業会社向けプラットフォーム事業は、法人クライアントの数、法人クライアントの単価、テイクレート等が当初想定を上回り好調に推移しているため、期初予想対比で上方修正します。取扱高は約4億円の増加、営業収益は約3.5億円の増加、人材等投資も踏まえ営業利益は約3億円の増加を見込むことといたしました。

このほか、最近の為替動向を勘案し、2023年2月期通期予想の営業外費用に為替差損を約0.5億円見込むことといたしました。当該為替差損は下記「3. 2023年2月期第2四半期決算における営業外費用（為替差損）の計上」に関連するものであります。

これらを織り込み、取扱高は12,700百万円（△3.8%）、営業収益は8,470百万円（△2.6%）、のれん償却前営業利益は610百万円（△39.0%）、営業利益は△200百万円（従来予想は260百万円の黒字）、経常利益は△280百万円（従来予想は230百万円の黒字）、親会社株主に帰属する当期純利益は△480百万円（従来予想は10百万円の黒字）と、それぞれ業績予想数値を修正します。

3. 2023年2月期第2四半期決算における営業外費用（為替差損）の計上

円安の大幅な進行により、子会社との資金取引から、非資金性・非事業性の会計上の損益として為替差損26百万円を2023年2月期第2四半期決算において営業外費用に計上いたしました。

（注）上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上